三芳町の文化財・考古4

藤久保第一土地区画整理事業に伴う 藤久保東遺跡発掘調査の概要

The outline of Fujikubo-higashi site excavation upon the land readjustment work of Fujikubo-daiichi

J地点X層出土石器（約30,000年前）

2009. 3

三芳町教育委員会

藤久保東遺跡の概要

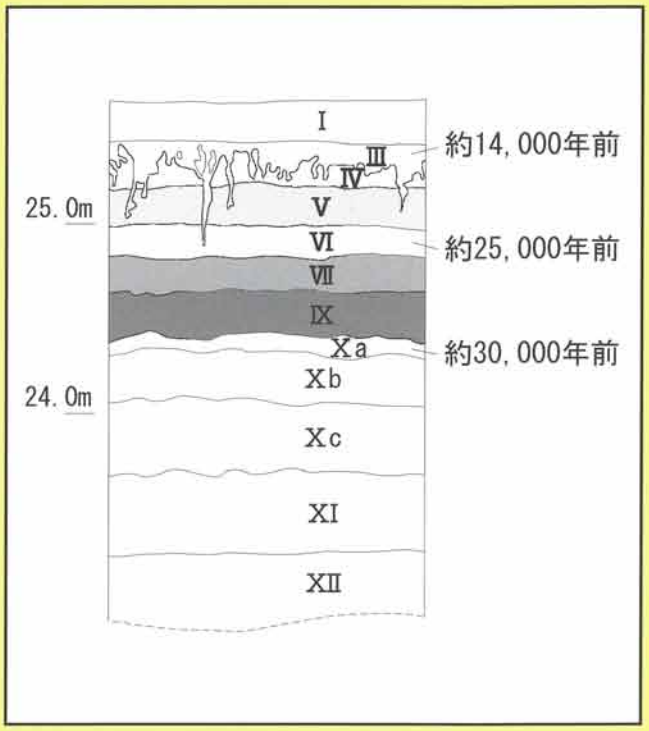
藤久保東遺跡は、埼玉県入間郡三芳町大字藤久保字東 779 番地から 812 番地の藤久保第一土地区画整理事業地内に存在します。遺跡の中央部には、江川という小さな河川が流れており、この河川の両岸に広がる遺跡です。

藤久保東遺跡は、今から約 20,000 ～ 30,000 年前の旧石器時代を中心とする遺跡で、埼玉県内最古の石器が出土した遺跡としても知られると共に、多くの石器や川沿い連なる調理跡（礫群）が発見され、注目されている遺跡です。日本で初めての旧石器時代遺跡の確認は、昭和 24 年、群馬県笠懸村の岩宿遺跡の発見に始まるとされていますが、藤久保東遺跡では、それを遡ること 12 年前の昭和 12 年、遺跡内に畑を持つ江原安信氏により関東ローム層中から黒曜石の石器や焼石が出土することが発見されていたのです。氏は、その後も農作業中に畑から出土する石器を丹念に収集し、戦後になって村の教育委員会に報告しています。発見時ないしは教育委員会報告時点で注目されていれば、日本初の旧石器時代遺跡となった遺跡でもあるのです。

これまで住宅建設や区画整理事業などにより 20 年以上にわたり発掘調査が行われ、たくさんの貴重な成果があがっています。土の中にはまだ多くの石器が埋まっていますが、開発者や区画整理組合の協力により、地中に大切に保存されています。

区画整理に伴い、発掘調査を行ったのは道路予定地・公園・水路予定地、保留地対象地、その他三芳町と組合との協議において記録保存措置を必要とする範囲とし、三芳町教育委員会が記録保存のための発掘調査を実施しました。発掘調査等によって出土した遺物や記録資料については、遺失物法および文化財保護法の手続きを経て、三芳町教育委員会が保管しています。

今回発掘された遺物がいつごろのものなのかを知るには、その遺物が埋まっていた地層の年代や一緒に埋まっていたもの、他の地域の同じような出土品から推定します。地層は普通、下の方が古く、上にいくほど新しいので、どの層に埋まっていたかによって、その遺物の新旧がわかるのです。特に火山の噴火で積もった灰などの噴出物は、科学的に火山の噴火年代が推定されるとともに広範囲に広がっているため、日本列島の広い地域の地層の新旧を決めることができます。



藤久保東遺跡基本土層図

藤久保東遺跡の基本土層は右図のように分層され、Ⅲ層以下が関東ローム層とよばれる火山灰層（赤土）です。このローム層を分析した結果、Ⅲ層には浅間板鼻黄色テフラ（As-YP, 約 1.3 ～ 1.4 万年前）が含まれ、Ⅵ層には九州鹿児島湾から飛来した姶良ｔｎ火山灰（AT,約 2 万 5 千年前）が堆積していました。Ｘｂ層では角閃石の増加が認められ、榛名箱田火山灰（約 3 万年前）、八ヶ岳 4 火山灰（約 3 万年前）の可能性が認められました。このように地層の年代が決定することにより、遺物の年代を推定することができるのです。

また、今回の調査では、石器を作る素材となる黒曜石について蛍光 X 線法を用い、非破壊で原産地の同定も行いました。調査で出土した主要な石器及び各石器集中より抽出した剥片類 227 点について分析し、原産地が判別したものは 194 点でした。この結果、藤久保東遺跡に運ばれてきた黒曜石は、伊豆半島天城地区柏峠系 69 点(35.6 %)、長野県霧ヶ峰地区和田峠･鷹山系 39 点(20.1 %)、箱根地区畑宿系 28 点(14.4 %)、他に、北八ヶ岳地区冷山･麦草峠系、神津島地区恩馳島系、栃木県那須の高原山地区高原山系が認められ、非常に多様な原産地構成が認められました。

区画整理事業に伴う発掘調査の概要

1989（平成元）年 12 月 1 日、三芳町藤久保第一土地区画整理組合設立準備委員会が立ち上がりました。その後、1998（平成 10）年 10 月 27 日に藤久保第一土地区画整理組合が設立され、区画整理事業が本格化しました。

三芳町教育委員会では、設立準備委員会の段階から申し入れを行ってきた遺跡の保存について、区画整理組合との協議を行なった結果、第一段階として、教育委員会が区画整理予定地内の遺跡内容を把握するため、遺跡の試掘確認調査を実施することとなりました。試掘確認調査は 1999（平成 11）年 4 月 21 日～ 12 月 16

日にかけて実施されました。

試掘確認調査実施範囲は、区画整理事業予定地内の周知の埋蔵文化財包蔵地およびその周辺にあたる計画街路部分全域を対象に実施することが許され、遺跡内を縦横に確認トレンチが入る形となりました。その結果、遺跡の時代・内容を容易に把握できることとなり、その後の調査計画立案において大いに参考となりました。

また、試掘調査において、後期旧石器時代の初頭期から終末期に至る重層遺跡であることが確認され、調査期間も経費も相当要することから、できうる限り保存が可能か否か、区画整理組合側と協議をすすめましたが、基本的には区画整理事業に先立ち記録保存を前提とした発掘調査を三芳町教育委員会が実施するという結論に至り、2000（平成12）年5月23日に埋蔵文化財記録保存調査に関する協定が締結され、同年6月12日より発掘調査が開始されました。2005(平成17)年12月27日に発掘調査は終了しました。その後、平成18年度より整理作業を実施し、2009(平成21)年3月25日の報告書刊行をもってすべての事業が終了しました。

調査地点は、下表のとおりE～J地点、M～P地点、R～S地点までの12地点、面積9,857㎡の調査が実施されました。

区画整理事業に伴う発掘調査によって発見された遺構は、石器集中箇所72ヶ所、礫群(調理跡)53ヶ所、配石3ヶ所、土壙4基、出土遺物総点数は、9,082点です。（表中の遺構数は地点ごとに算出しているため、総遺構数と差があります。）

1	地点名	藤久保東遺跡E地点	調査面積	1,800㎡
	所在地	藤久保字東796-1, 797-1他	調査年月日	平成12年6月12日～平成13年3月23日
	概要：Ⅲ層～Ⅴ層の礫群15、石器集中17、時期不明土壙1基を検出。			
2	地点名	藤久保東遺跡F地点	調査面積	1,230㎡
	所在地	藤久保字東786, 787, 796の一部	調査年月日	平成13年6月11日～12月20日
	概要：Ⅶ層～Ⅸ層礫群4、石器集中8を検出。			
3	地点名	藤久保東遺跡G地点	調査面積	996㎡
	所在地	藤久保字東797-1, 801-1の一部	調査年月日	平成13年6月18日～平成14年3月13日
	概要：二次堆積層～Ⅳ層礫群9、石器集中6、配石2を検出。			
4	地点名	藤久保東遺跡H地点	調査面積	210㎡
	所在地	藤久保字東810-1他	調査年月日	平成14年1月28日～3月15日
	概要：Ⅸ層石器集中3を検出。			
5	地点名	藤久保東遺跡I地点	調査面積	202㎡
	所在地	藤久保字東786-1	調査年月日	平成14年6月3日～7月8日
	概要：焼礫数点出土。			
6	地点名	藤久保東遺跡J地点	調査面積	778㎡
	所在地	藤久保字東802-5	調査年月日	平成14年5月28日～平成15年3月24日
	概要：Ⅸ層～Ⅹ層石器集中14、配石1、Ⅹ層掘込土壙1基を検出。			
7	地点名	藤久保東遺跡M地点	調査面積	1,480㎡
	所在地	藤久保字東785, 786-2他	調査年月日	平成15年5月6日～平成16年3月16日
	概要：Ⅴ層～Ⅶ層礫群9、石器集中12を検出。			
8	地点名	藤久保東遺跡N地点	調査面積	380㎡
	所在地	藤久保字東796-2	調査年月日	平成15年8月1日～12月25日
	概要：焼石少量出土。			
9	地点名	藤久保東遺跡O地点	調査面積	577㎡
	所在地	藤久保字東810, 811	調査年月日	平成16年1月7日～3月19日
	概要：Ⅳ層礫群2、石器集中2、Ⅸ層石器集中1を検出。			
10	地点名	藤久保東遺跡P地点	調査面積	1,315㎡
	所在地	藤久保字東797-1, 801-1他	調査年月日	平成16年5月6日～平成17年3月17日
	概要：二次堆積層～Ⅶ礫群11、石器集中8、土壙1基を検出。			
11	地点名	藤久保東遺跡R地点	調査面積	692㎡
	所在地	藤久保字東795-3	調査年月日	平成16年11月16日～平成17年2月23日
	概要：Ⅶ層礫群2、石器集中2を検出。			
12	地点名	藤久保東遺跡S地点	調査面積	197㎡
	所在地	藤久保字東796-1	調査年月日	平成17年5月20日～12月27日
	概要：Ⅲ層～Ⅳ層の礫群3、石器集中4、時期不明土壙1基を検出。			

調査地点一覧表

E地点の調査（平成12年度）

一次調査風景

調査地全景

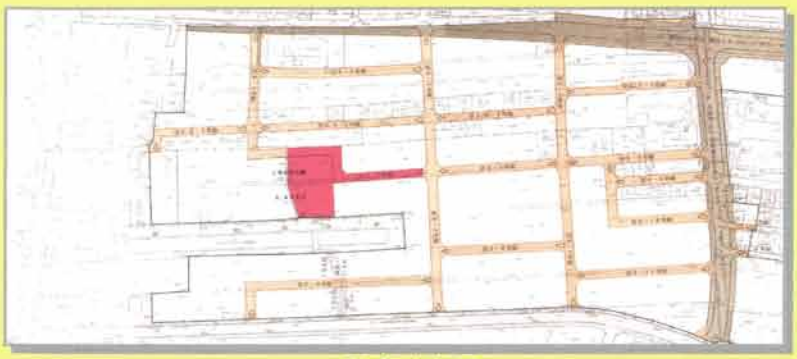
一次調査風景

一次調査風景

一次調査地全景

一次調査風景

一次調査風景



調査地点図

土層断面

二次調査風景

二次調査地全景

二次調査風景

二次調査風景

調査終了写真

E地点出土の尖頭器（原寸）

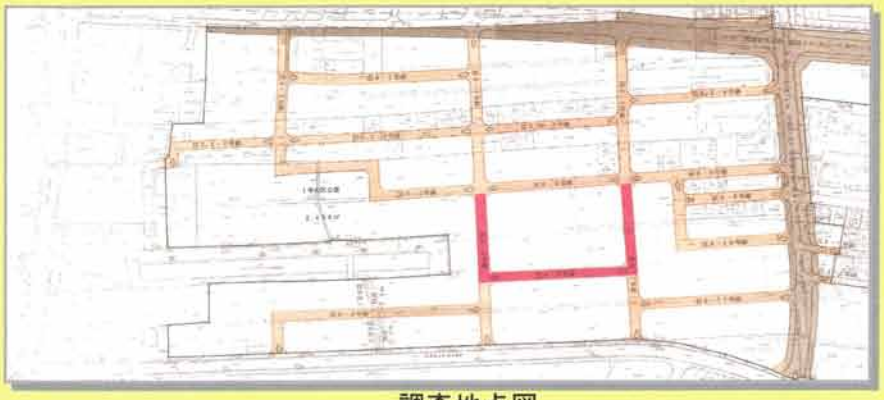
E地点出土のナイフ形石器（原寸）

F地点の調査（平成13年度）

調査風景

調査前全景

調査風景



調査地点図

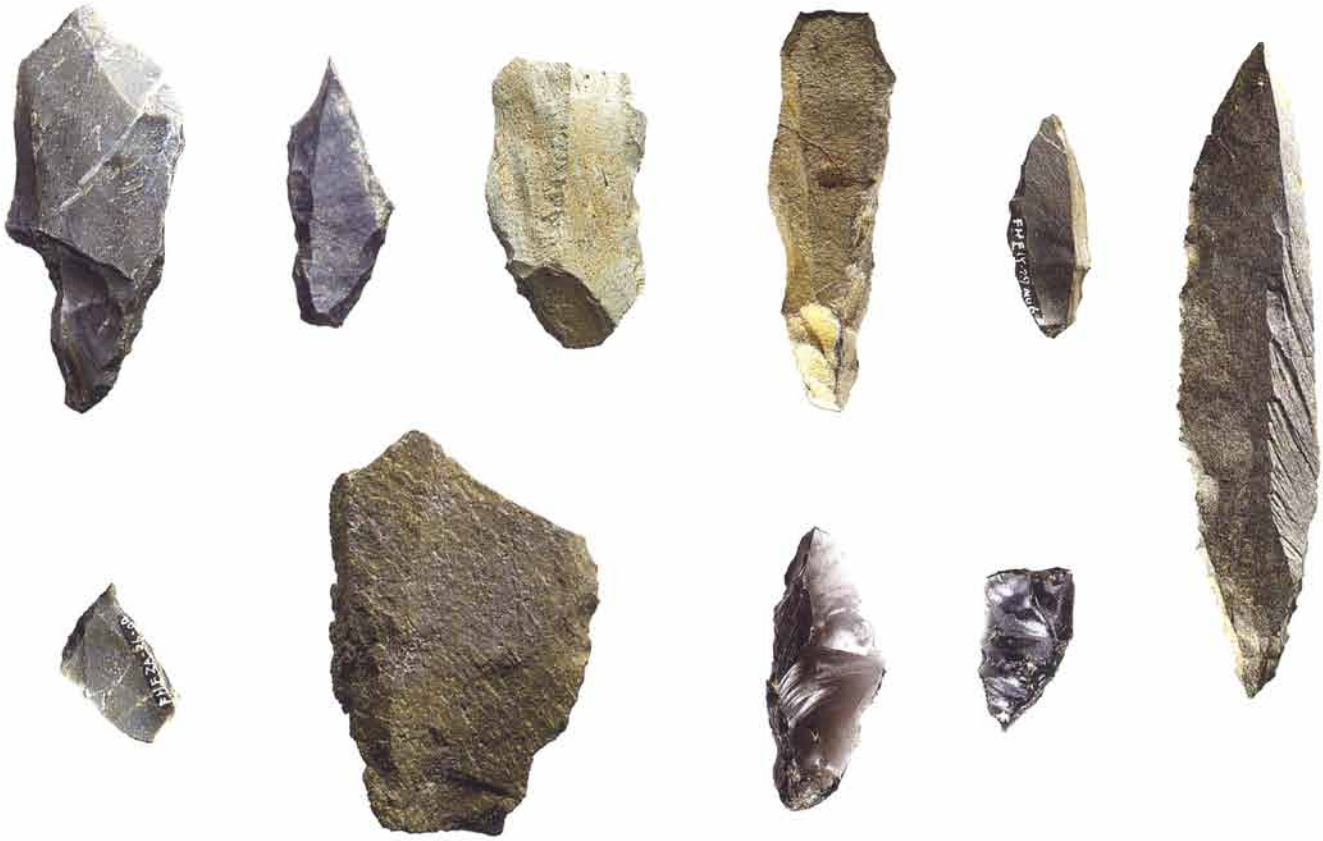
石器出土状況

石器出土状況

調査風景

遺物出土状況

遺物出土状況



F地点出土のナイフ形石器（原寸）

G地点の調査（平成13年度）

一次調査風景

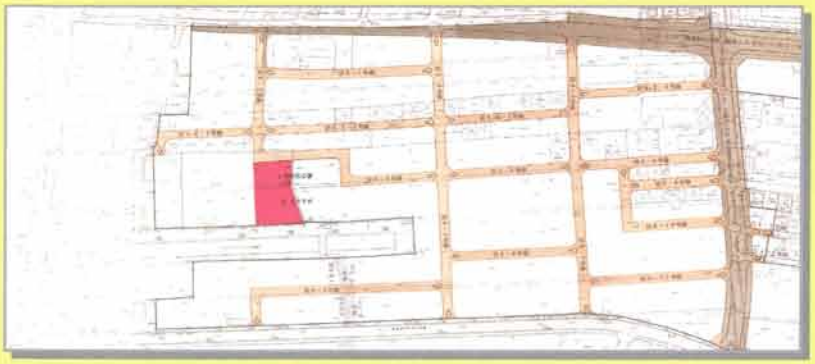
一次調査区全景

一次調査風景

一次調査遺物出土状況

一次調査遺物出土状況

実測図記録作業



調査地点図

一次調査終了

二次調査表土剥ぎ

二次調査風景

11月の地下水位上昇

二次調査終了

2月の地下水位下降後調査風景

G地点出土のナイフ形石器(原寸)

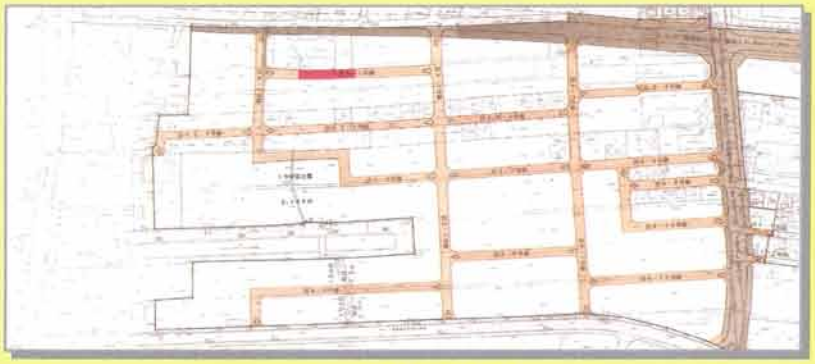
H地点の調査（平成13年度）

遺物出土状況

調査風景

完掘状況

H地点出土石器



調査地点図

石核出土状況

Ⅰ地点の調査（平成14年度）

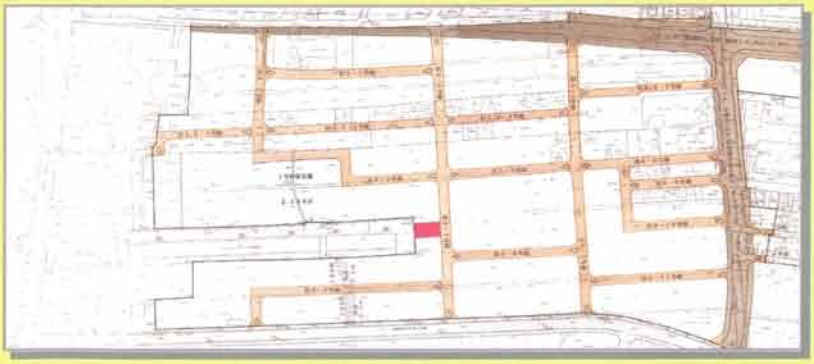
調査風景

調査風景

調査風景

土層写真

完掘状況



調査地点図

埋戻し状況

J地点の調査（平成14年度）

調査風景

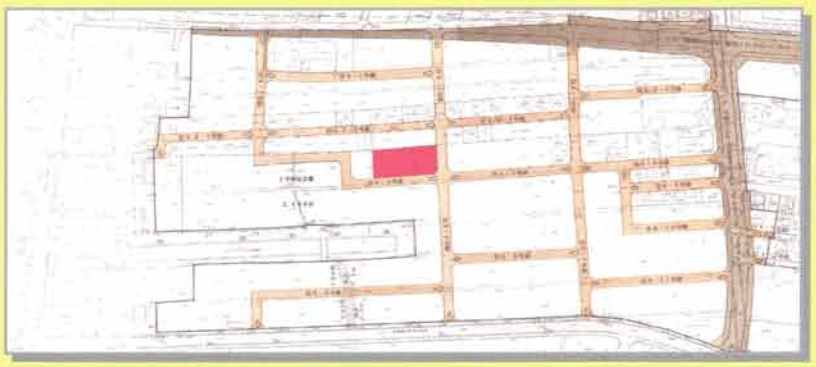
調査風景

調査風景

調査風景

調査風景

調査風景



調査地点図

X層ナイフ形石器出土状況

調査風景

遺物出土状況(Ⅸ層石器集中)

J地点Ⅸ層出土のナイフ形石器(原寸)

調査区全景

J地点Ⅹ層出土のナイフ形石器(約30,000年前):原寸

M地点の調査（平成15年度）

調査前全景

調査風景

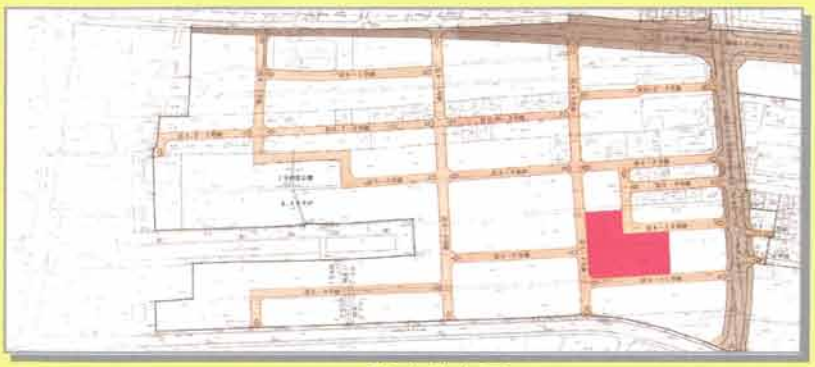
調査風景

調査風景

M地点出土のナイフ形石器

完掘状況

完掘状況



調査地点図

遺物出土状況

N地点の調査（平成15年度）

重機による表土剥ぎ

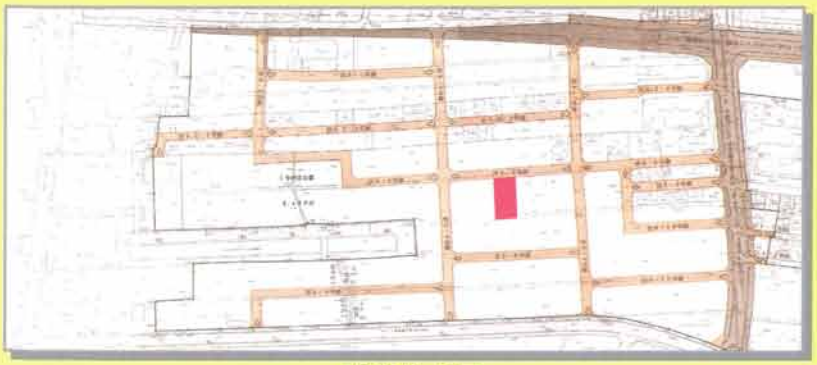
調査風景

完掘状況

調査風景

完掘状況

完掘状況



調査地点図

N地点出土石器

○地点の調査（平成15年度）

調査前全景

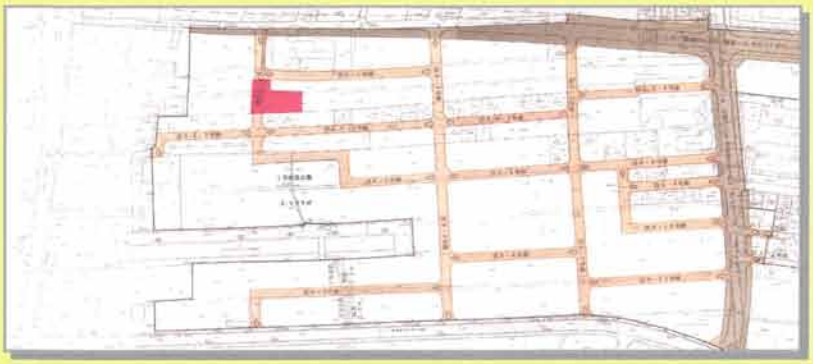
重機による表土剥ぎ

遺構検出状況

完掘状況

遺構検出状況（土壙）

遺物出土状況（礫群）



調査地点図

土層堆積状況

炭化物検出状況

土層堆積状況

O地点出土石器(原寸)

P地点の調査（平成16年度）

調査風景

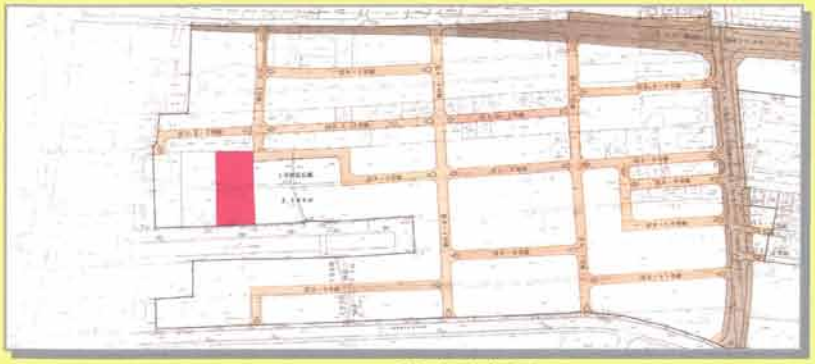
調査前風景

重機による表土剥ぎ

調査風景

調査風景

調査風景



調査地点図

遺物出土状況（縦縞は牛蒡のトレンチャー跡）

石器集中と礫群

一次調査完掘

二次調査地

調査風景

10月頃の湧水状況

二次調査完掘

P地点出土のナイフ形石器(原寸)

R地点の調査（平成16年度）

調査前全景

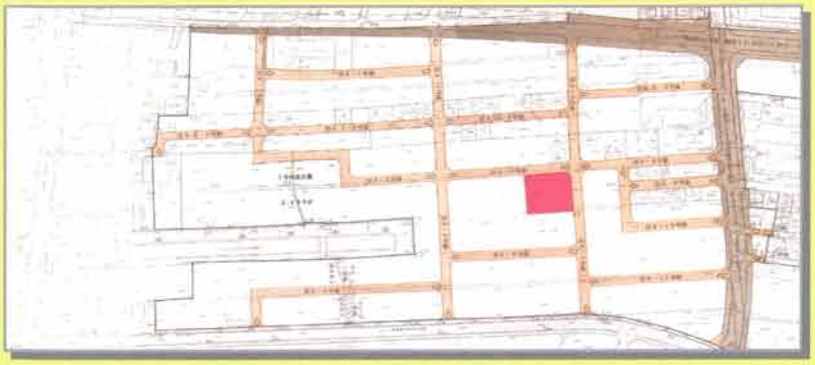
調査風景

調査風景

Ⅶ層石器集中

M地点完掘

石器出土状況



調査地点図

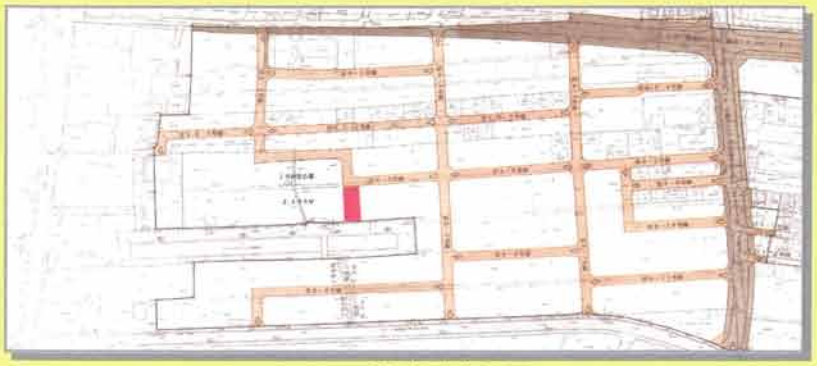
石器出土状況

R地点出土石器(原寸)

S地点の調査（平成17年度）

礫群出土状況

調査風景

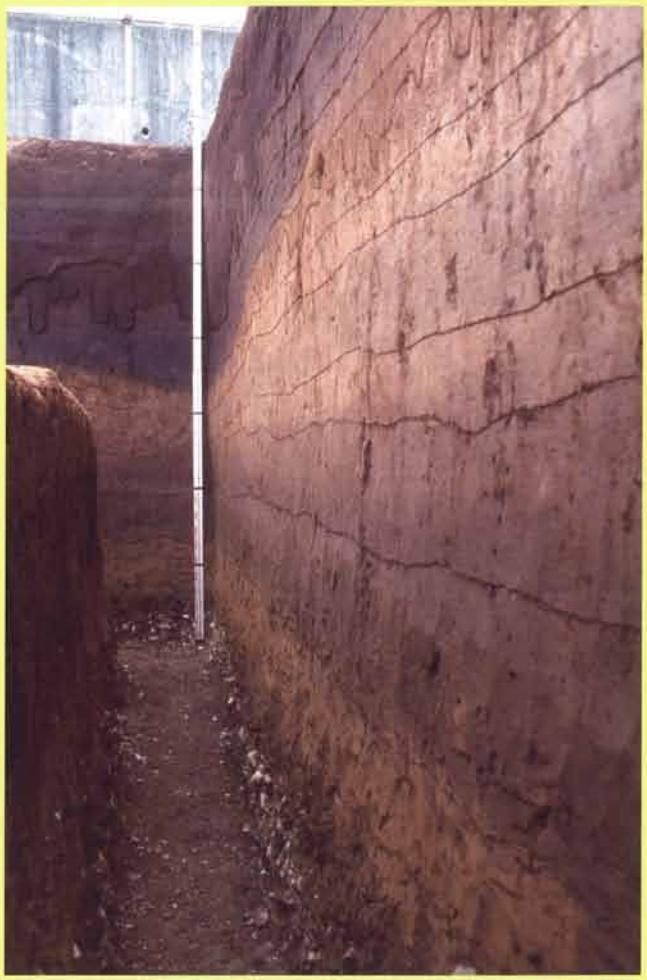


調査地点図

重機による表土剥ぎ

調査風景

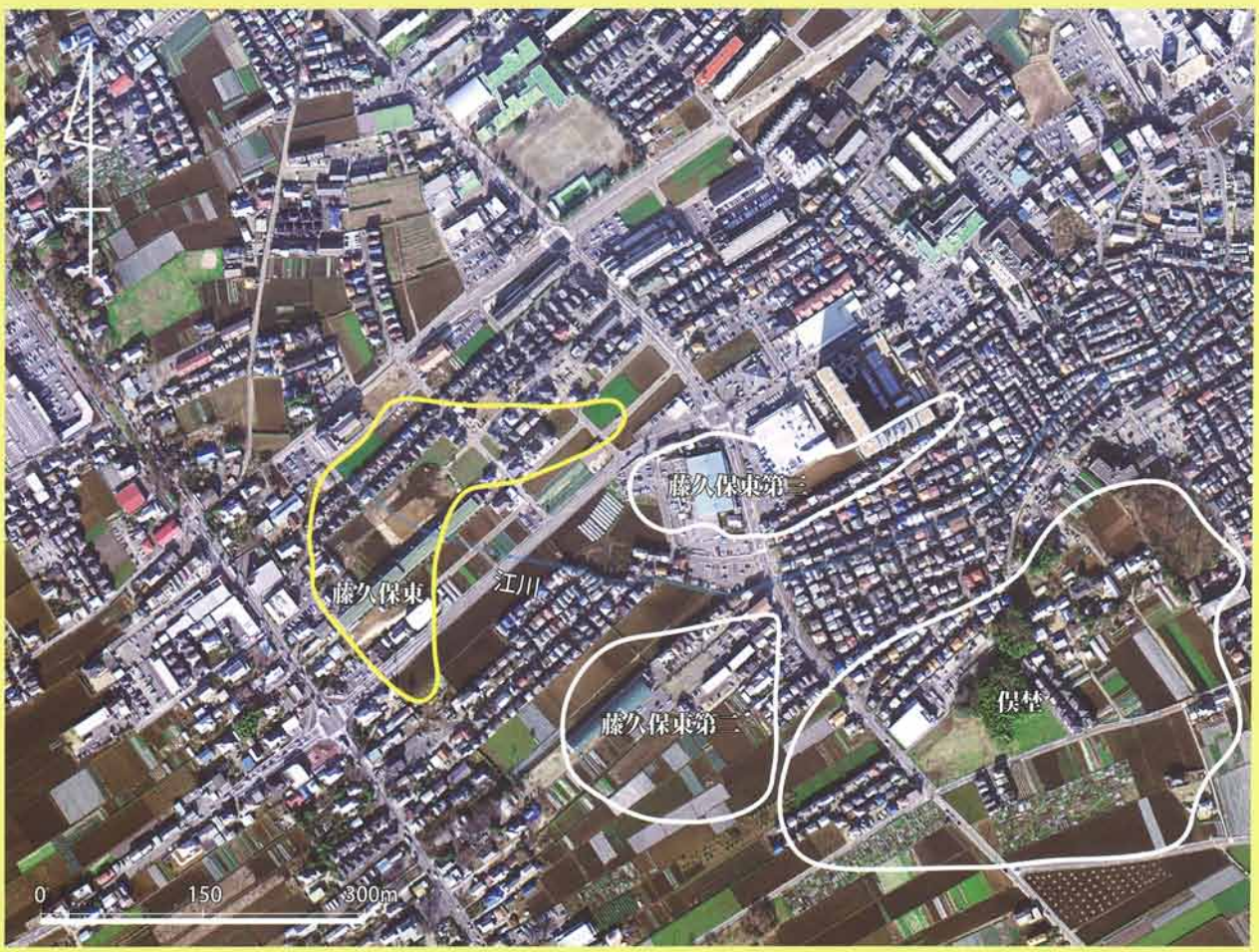
P地点完掘



土層写真

S地点出土石器(原寸)

藤久保東遺跡周辺航空写真（1988 年撮影）



藤久保東遺跡周辺航空写真（2008 年 12 月撮影）

三芳町の文化財・考古 4　藤久保第一土地区画整理図業に伴う藤久保東遺跡発掘調査の概要
発行日：2009（平成 21）年 3 月 25 日　　発行：三芳町教育委員会　　印刷：深志印刷株式会社